

日時	発言者	内容	市場への影響
1/4	イエレン サンフランシスコ連銀総裁	「通常の景気後退よりも下降局面が深く長くなりそうだ。」 サンフランシスコの講演で。	-----
1/4	フェルドシュタイン 前全米経済研究所所長	「第二次大戦後のどの下降局面よりも厳しい。」サンフランシスコの講演で。	-----
1/7	オバマ次期大統領	「われわれは1兆ドルの財政赤字を引き継ぐことになる。」 「迅速かつ大胆な景気対策は経済に不可欠。」 記者会見で財政再建より景気優先の認識を示す	-----
1/7	ホーニング カンザス連銀総裁	「4～5年で流動性供給が解除されなければ深刻な問題になる。」 過度に低金利を維持しきることのないよう注意を促す。	-----
1/13	バーナンキ FRB議長	「追加的資本注入や、(政府)保証が必要になるかもしれない。」 「バッドバンクの設立を含め、FRBは多くの政策主手段を保有している。」 ロンドンの講演で、今後の政策運営について。	-----
1/15	トリシェECB総裁	「経済の先行きはさらに弱まっている。」「インフレ圧力が引き続き弱まっている。」 「次回の重要な会合は3月だ。」政策金利の引き下げを決めた直後の記者会見で。	ユーロ/ドル1.3060→1.32台へ
1/19	欧州委員会	2009年のユーロ圏実質経済成長率見通しをマイナス1.9%まで落ち込むと発表。	ユーロ/ドル1.3370→1.30台後半へ
1/21	ボルカーノFRB議長	米経済建て直しには「数兆ドルが必要だ。」米公聴会での発言。	ドル売り/円買いが加速。
1/22	ガイトナ次期財務長官	「大統領は中国が自国通貨を操作していると信じている。」 「強いドルは米国の国益だ。」上院公聴会で。	後者の発言でややドル高に。
1/27	ガイトナ次期財務長官	「ドルの価値は米国民にとって大変重要。」財務長官就任の上院公聴会で。	-----
1/29	ジョージソロス	「不良資産対応に向け国際的合意を達成させるため、 欧州連合が主導して取り組まないかぎり、ユーロは生き残れないかもしれない。」 メディアの質問に答えて。	ユーロ/ドル1.31台→1.29台へ
1/29	トリシェECB総裁	「政策金利を2%以下まで引き下げ、景気支援に向け他の策も講じることが可能。」と 記者会見で述べた。	ユーロ/ドル1.31台→1.29台へ